



▲神社用の大しめ縄を作成

1 年の幸福を願い

＝シルバー人材しめ縄作り＝

町シルバー人材センター（小貫辨明理事長）は、町老人福祉センターで正月用の門松やしめ縄など正月の飾り物作りを行いました。

しめ縄作りなどは、毎年師走の時期に行われ、シルバー人材センターのしめ縄製作班の4人が町内の藁や竹を使用し、しめ縄や門松などを作成しています。

門に立てる松は、年神様が訪れ、1年の幸福を授かると言われ、神様が最初に降りてくるのが門松とされています。

練習の成果を披露

＝幼稚園生活発表会＝

鏡石幼稚園（伊藤美和子園長）は、12月7日(出)に同幼稚園で生活発表会を行いました。

当日は、園児54人が歌や合奏、人形劇などの演技発表を行い、一生懸命練習した演技を披露していました。演技発表終了後は、郡山わらべうたで遊ぼうの会の古澤政子先生と一緒に親子で楽しくわらべうたで遊びました。



▲保護者の見守る中、素敵な演技を披露する園児たち



▲助川浩一副町長へシクラメンを贈呈する今村さくらさん(左)、芳賀めぐみさん(中)、合佐毘優さん(右)

きれいに咲きました

＝岩瀬農業高校シクラメン贈呈＝

12月12日(休)福島県立岩瀬農業高校3年の生徒3人と横山道夫校長は学校で育てたシクラメンの贈呈に町役場を訪れました。

このシクラメンは、岩瀬農業高校園芸科で、一昨年の夏に種をまき、約1年半かけて育てたものです。

3人からは「日のあたる場所に置いて、土の表面が乾いたら水をあげるとよく育ちます」とアドバイスがありました。

防犯の意識を高める

＝年末年始特別警戒出動式＝

12月11日(休)町勤労青少年ホームで年末年始特別警戒出動式が行われ、関係者50名が出席しました。出動式では仲沼義春須賀川地区防犯指導隊長から遠藤町長へ出動報告が行われました。

また、出動式後は、参加した皆さんが3班に分かれ、町内の商業施設や駅などでチラシやティッシュを配り、年末年始の防犯を呼びかけました。



▲鏡石駅で啓発活動をする参加者

食べてもおいしい

＝田んぼアート米贈呈＝

かがみいし田んぼアート実行委員会（遠藤栄作実行委員長）は、田んぼアートで収穫した新米「天のつぶ」を町立小・中学校の学校給食用（3回分）として町教育委員会に贈呈いたしました。また、当日開催された実行委員会では、平成26年度の田んぼアートの図柄を「金太郎」と今年開催されるサッカーワールドカップの話題性を盛り込んだデザインとすることを決定しました。



▲高原孝一郎教育長(左)へ米を贈呈する遠藤栄作実行委員長、和田和久副実行委員長、稲田修宏副実行委員長

まちの話題フォトアルバム



▲慣れない手つきながらも上手に料理する参加者

料理を作る楽しさ知る

＝男の料理教室＝

12月8日(日)町勤労青少年ホームで、ボランティア団体「花みずき」（稲田よし江代表）による男の料理教室が開催されました。

当日は、町内の60歳以上男性約20人が参加し、花みずきの会員によるアドバイスを受けながら料理をし、作り終えた後は仲間たちと話を楽しみながら、自分で作った料理を堪能していました。

親子で手作りカレンダー

＝つどいの広場子育て講座＝

つどいの広場では、12月16日(月)に子育て講座「カレンダーを作ろう」を町保健センターで開催しました。

当日は、15組32人の親子が子どもの写真や手形など様々な材料を使って、親子で楽しくカレンダー作りをしました。

つどいの広場は、乳幼児とその保護者を対象に、毎週月・水・金曜日の午前10時から午後4時まで開かれています。



▲親子で協力してのカレンダー作り

人権尊重

＝全国中学生人権作文コンテスト＝

法務省が主催する第33回「全国中学生人権作文コンテスト」福島県大会表彰式が11月12日(火)喜多方プラザで行われ、鏡石中学校3年の小山鈴響さんが優秀賞を受賞しました。

コンテストには、県内143校から4,967点の応募があり、小山さんは「共に生きる」をテーマにした作品での受賞でした。



▲表彰を受ける小山鈴響さん